

## H.C.R. 2015 福祉機器利用者アンケート 回答の概要

### 1 福祉機器情報の入手方法

(※複数回答可)

福祉機器情報の入手先については、昨年度に引き続いて、「福祉機器常設展示場」が22%と最も多く、次いで「介護ショップ」と「販売会社営業担当者」が10%で並ぶという結果となりました。その背景には、上位の3つが、機器を実際に見て、触れることができる点にあるものと推測されます。続いて、「各企業のホームページ」が9%にのぼり、その後に、「H.C.R.福祉機器情報サービスホームページ」が8%という順になりました。

2014年の前回調査に比べて「販売会社営業担当者」が2%増加したほか、ホームページ関係から情報を入手するという回答が全般的に増えた一方で、「地域包括支援センター／在宅介護支援センター」や「社会福祉協議会」などが微減しています。

### 2 相談窓口 (※複数回答可)

福祉機器を購入・レンタルするときに相談した窓口としては、2011年の調査から5年連続で「地域包括支援センター／在宅介護支援センター」が最上位で23%となりました。続いて、これも前年に引き続き、「販売企業の営業所窓口／営業員」が2ポイント増の21%となりました。さらに、「ホームヘルプ事業者」が前年の5%から8%へと、また、「障害者福祉施設」が3%から6%へと伸びを見せた一方で、「市町村役場」が13%で2ポイント減、「福祉機器常設展示場」が8%で1ポイント微減といった結果となっています。

### 3 福祉機器の利用にあたって 望まれること (※3つまで選択可)

福祉機器の利用については、今回のアンケートでもさまざまなご意見・要望が確認されましたが、最上位に「操作のしやすさ」と「安全性」が21%で並ぶ結果となり、特に「安全性」については前年から2ポイント増加していることから、利用者の高齢化とともに、操作のシンプルさや分かりやすさが求められていることに加えて、事故やトラブルの恐れのない安全性の高い製品への要望が高まってきているものと考えられます。

また、3番目は「価格の安さ」の15%で、これらの3つの項目が上位を占める形がここ数年定着しています。また、一方で、「試用ができる」なども前回調査から2ポイント増加しているなど、利用する際のニーズの個別化が進んでいることが集計結果から読み取ることができます。

### 4 福祉機器の開発や利用に ついての意見・要望

例年多数寄せられている価格の安さを求める声のほかにも、操作がシンプルであることや分かりやすいこと、安全性などに言及する回答が多数にのぼりました。また、製造する側の都合でサイズや仕様のバリエーションなどが限られてきている傾向や、これに対する要望として、ユーザーや介護・介助をする側の使い勝手や意見・要望が反映された形での開発が進められることを求める声が、今年は特に目立ちました。

さらに、在宅で介護をする場面の増加を踏まえて、サイズや設置条件、女性による操作などへの配慮を求める意見や、今年のアンケート全体の傾向として顕著になっ

た「ホームページを利用して自分に合った機器を探す」というケースの増加傾向を反映してか、インターネットによる情報提供への配慮（検索しやすい画面や機能など）といった、さまざまな声が届けられました。

- ①開発の段階で福祉機器の利用者の声やモニタリングを限定しすぎて、コスト面を含めて非効率になっている気がします。もっと自由な発想をして、利用者や介護する側の人たちなど多く目にとまり、多くの意見や経験が反映されるようなことを意識してほしいと思います。
- ②軽量、丈夫、メンテナンスが楽というのが、ポイントになると思います。
- ③女性ユーザーへの配慮が、まだまだ足りないと思います。車いすや車両など、軽さや操作の簡便さへの工夫が進むと助かります。
- ④大企業の福祉機器は、利用者の意見よりもコストを重視されている感じが否めません。逆に、中小企業や個人的会社の製品はよい製品は多いが、少数しか製造できないために入手困難になっている実態があります。
- ⑤特に高齢者の場合ですと、インターネットが自在に使えるような環境が整っていない家庭もあります。最近では、ホームページをご覧くださいで済ませる企業さんも多くなりましたが、パンフレットや手紙、ハガキなど、アナログ対応もお忘れなくお願いします。
- ⑥展示されている機器は、年々概ね便利になっていると思います。ただ、大がかりな住宅設備やサイズの大きな機器も多く、たとえば、団地住まいなど、もっと日本の住宅事情に合わせた仕様も必要かと思えます。
- ⑦衣類など、身につけるものについては開発者の温かいまなざしが感じられ、見ていてホッとします。
- ⑧今後、認知症の利用者様もさらに増加されます。暴力をふるわれたり、介護拒否などをされる力の強い利用者様に対しても対応できるロボット（動きがコミカル、頑丈など）の開発を介護職として強く望んでいます。
- ⑨やはり、高額な印象は否めません。企業努力も必要でしょうが、国などの行政の援助がもっと充実することを願います。
- ⑩製品カタログに価格が表示されていない点に、不安と不満を感じます。
- ⑪福祉車両に付属のスロープの耐積重量の改良を望みます。できれば250kgくらいないと、電動車いすだけでも190kgあるので、現状の200kgでは耐えられない状況です。
- ⑫高齢化社会になって、ここ最近では高齢者むけの機器は随分いろいろな製品が出てきたと思いますが、まだまだ障害者の声が届いていないように思います。
- ⑬介護保険利用だけでなく、個人の買い取り（ユニバーサルな用途）も視野に入れて開発や価格設定などをしてほしいです。
- ⑭短下肢装具の場合、一番重要なのは重さなので、仕様書に必ず重量の目安を書いてほしいです。
- ⑮キャスター付き四脚歩行器のキャスター（特に後方）を改良してもらいたいです。

- ⑯よい製品の開発・販売も必要ですが、安定供給と保証こそ大切だと思います。
- ⑰福祉機器は、やはり試用ができる製品ではないと導入しにくいと思いますし、開発の段階から試用ができる仕組みや流通の確保を考慮に入れてほしいです。また、デモンストレーションが、病院・リハビリ施設に偏ることなく、一般の利用者や在宅の使用も想定したものになってほしいです。
- ⑱多くの企業があるのでなかなか難しいとは思いますが、もう少し検索ワードなど、目的の製品を見つけやすくなる環境が整うと助かります。
- ⑲毎年訪れていますが、視覚障害者むけの出展が毎年少なくなってきたり、白杖などは皆無になってきているのが残念です。
- ⑳高齢者が介助する側になることが多くなったので、機器を使いやすくしたり、説明書やカタログなどを読みやすくしてほしいです。
- ㉑レンタルできる機器の範囲を広げてほしいと思います。たとえば、センサーなどは、必要がなくなったときに引き取ってもらえるサービスがあると便利なのだと思います。
- ㉒認知症の予防から徘徊の対策などまで、認知症に対応した機器・製品の開発や普及がもっと進むとよいと思います。

### 5 福祉機器に対する不満

「福祉機器に対して日頃感じている不満」についてフリーアンサー形式で質問したところ、「価格の安さ」への希望が引き続き多数にのぼったほか、「操作が複雑ではなく」「簡便で」「使いやすい」ことや、「安全性をより高めてほしい」などといった意見が散見されました。また、重量、サイズ、デザイン、フィット感など、操作上での細かいズレや不一致・不適合などへの不満や、メンテナンスやアフターサービス、使用にあたってのフォローなどの手厚さを求める声も目立ちました。製品の品目ごとの回答は次のとおりです。

#### 1. 手動車いす

- ①パーキンソン病の利用者で、うまく使いこなせない状況ですが、一人でも利用が出来る車いすが必要と考えていらっしゃる方がいます。
- ②トイレのなかで自由に動かせないのがとても不便ですし、まだまだ自走ににくいと思います。
- ③本人に腰痛があつて背張り調整していますが、漕ぐ際に前傾になった際に痛みが出てしまい、自発的に漕ぐことをされなくなり、ADLの低下を招いてしまっている状況です。
- ④身体にぴったりと合っていないので、移乗がしにくい。走行時も含めて、使用者に合う機器の選び方が難しいというのが現状だと思います。
- ⑤カラーやデザインのバリエーションが、もっと増えるとよいと思います。
- ⑥重たいし、ブレーキがタイヤに接触するタイプのためにタイヤが減りやすいので、困っています。
- ⑦折りたたみに、かなり力が必要なのが難点です。
- ⑧リクライニングのない車いすを使用していますが、シートが少々狭いせいか、体調がすぐ悪くなってしまう。
- ⑨ひじかけやフットレストが外れるものが少ないです。あったとしても高額であることが不満です。
- ⑩全体的にブレーキの利きが悪く（弱い）、壊れやすく、日常の使用のなかで傷みやすいと思います。

#### 2. 電動車いす／電動スクーター

- ①バッテリー系が弱く、とくに冬場になると走行距離



が短くなってしまいます。ソーラーの（補助）電源などができると、嬉しいのですが。

- ②下半身が一切使えず、体幹も維持できずに自走式の電動の車いすを使用している方からの要望ですが、(1)トランスボードで移乗したい。(2)ひじ掛けを跳ね上げても、タイヤが邪魔になる。自走もしたいので、タイヤ径は確保したい。(3)なおかつ、外出もしたいので、モーターは欠かせない。こういった、痺いところに手が届く車いすがあるとよいのだが、とおっしゃっていました。
- ③もっと段差をうまく乗り越えられるようになるとよいです。
- ④バックしやすい補助具があるとありがたいのですが。
- ⑤簡易型の電動車いすは車に積めて便利なのですが、日常の走行のなかで倒れやすいのが困ります。

### 3. 車いす関連用品

- ①マットが固くて、お尻に合わない。前ずれしている状況です。
- ②車いすだけでなく、普通のイスにも使える仕様にしていただけるとありがたいです。

### 4. 歩行器／歩行補助車

- ①幅がありますし、大きいので小回りが利きにくいです。
- ②高さがびったり合うものが、見つかりにくいです。背の高い人だと上半身を曲げなければならず、腰痛につながりやすいですし、背の低い人だと振り返らねばならず、不安定になってしまいます。
- ③キャリーバッグタイプを使用していますが、タイヤの振動やがたつきが気になります。逆に、しっかりした歩行器は、デザインがあまりよくないのが不満です。
- ④高齢になると握力が弱くなるので、ブレーキが使用しにくい人も多いのではないのでしょうか。

### 5. 杖

- ①石づきの部分がつぶれたり、すべて不安定になりがちです。長さにも問題を感じます。
- ②持つところがもう少し細い杖があると、ありがたいのですが。

### 6. 移乗補助機器

- ①車の種類によっては移乗が難しいものがありますし、利用する者の年齢を考慮してもっと工夫してもらいたいです。
- ②ときどき動かなくなり、修理に出すのですが、悪いところはないと戻されてしまうので困っています。

### 7. 据置式・固定式リフト

- ①シートが思うように行えないです。説明してもらおうとできるのですが、微妙な調整が一人ではできない難しさがあります。

### 8. 障害者用自動車運転装置

- ①車両室内が狭いために、車いすやストレッチャーを車両室内で動かすときに身体が接触して怪我をさせそうになったり、固定操作スイッチが下部に固定されているために、手が届かないといった問題があります。
- ②専門の工場などで取り付ける機器が、個々の車両にびたりと合いません。各自動車会社で専用の器具を開発してもらいたいのですが、その際は、手動運転装置などはより小さいものにしていただけるとありがたいです。
- ③(1) 燃費が悪い。(2) 乗り降りが大変。(3) 昇降動作

が緩慢であるといった点を改善してほしいです。

### 9. 福祉車両

- ①立ち上がりの際に、適切な位置につかまるところがないので困っています。
- ②自分で運転するのですが、車いすを入れるときに不便さを感じています。

### 10. ベッド

- ①ギャッチベッドのコードが邪魔になります。ベッドに挟んでしまうこともあります。
- ②マットレスや枕が、ずれてしまいます。
- ③ギャッジアップの上げ下げに時間がかかります。
- ④ベッドからの落下が心配なので、夜はなるべく低くして使いたいのですが、現状の30cmでは不安を感じる高さです。
- ⑤年数とともに、カバーがはがれてぼろぼろになったり、腰部分がへたってきたりします。
- ⑥お風呂に入るときや、お風呂から出るときに、動きにくさを感じます。
- ⑦柵固定の仕方によっては、グラグラするのが心配です。
- ⑧低床ベッドに買い替えたいのですが、やはり高額だというのが実感です。

### 11. マットレス・床ずれ防止製品

- ①もっといろいろな種類があるとよいですし、付属品などは安価なものがあるとうれしいです。

### 12. 浴槽

- ①手すりが一か所しかないので、立ち上がって浴槽をまたぐ際に不安定になります。
- ②方向転換をしたり、前輪の回転が悪かった際に、前輪が足やかかとに当たるので注意しています。
- ③車いすからの移乗などのときに、安全のためのスポンジを設置しないと危険な感じがしています。

### 13. 入浴用チェア

- ①色合いが良くない、微妙な高さのズレを感じる、そして、何とんでもカビ対策に苦慮しています。
- ②まだまだ座りにくく、重いので動かしにくいです。

### 14. ポータブルトイレ

- ①ウォシュレットのリモコンを取り付ける場所がなく、ご利用者が押せないで困っています。

### 15. 防臭剤・消毒剤

- ①青い液のものなどは、壁に付着したときにとれなくて困ります。
- ②防臭できる持続時間が短いと思います。

### 16. おむつ関連用品

- ①サイズが細かく揃っていないため、装着時に身体に合わせるのが難しいのが、長年の課題です。特に、腹水貯留した患者などは、おむつサイズが難しいです。
- ②おむつで、大便処理がもっと簡単にできるものの開発を期待します。パッドの排便対応のもの自体が、少ない気がします。
- ③おむつ着用のために自力での下衣操作ができないケースが多いので、リハビリパンツのように伸縮性ももっとあればよいと思います。
- ④尿はかなりよくなってきたと思いますが、便のときの漏れがまだまだ課題です。便の漏れの開発が遅いと思います。
- ⑤展示会場でサンプルを置いているブースが以前よりも減った気がしますが、購入の判断が難しく大変

困っています。

### 17. 衣類

- ①まだまだファッションブルな製品が少なく、高年配層むけのようなタイプが多いと思います。

### 18. 靴

- ①短下肢装具で履ける介護シューズは、なぜ年配むけのデザインが主流なのでしょう？ 若年層のことも考えてほしいです。
- ②女性用はデザインも種類も豊富になったが、男性用で、特に足が大きい人用のものがまだ少ないので、会場で探すのに苦労しました。
- ③歩行に合う靴、特にむくみに対応できる製品に対する理解が乏しいために歩行が困難になっている利用者様もいます。

### 19. 補聴器

- ①コンパクト化ばかりが進んでいますが、補聴器がもう少し大きいサイズだと、補聴器を使用しているのが確認できるのでよいという側面もあるのではないかと考えます。

### 20. 緊急速報・見守り装置

- ①必要に迫られている状況ですが、いかにせよ値段が高く購入に踏み切れません。

### 21. 障害者用OA機器、ソフトウェア

- ①サポート体制が不十分なので、当事者対応のヘルパーを養成してほしいです。

### 22. その他のコミュニケーション機器

- ①EL（人工喉頭）のモーター音（振動音）がもう少し小さくなるなどすれば、もっと聞きとりやすくなると思います。電池が1日しかもたなくなったことにも、困っています。

### 23. 階段昇降機

- ①利用者が太ってきてもたたりすると、バランスが悪くなってしまいます。

### 24. 義肢・装具

- ①壊れやすいことがずっと課題になっているわけですが、自宅に訪問していただける補修やメンテナンスのサービスがあるとありがたいです。
- ②修理に出さねばならない状況にしばしばなるのですが、スペアが調達できないので、制度的にもっと柔軟に運用できるようにしてほしいです。補助金も支給されないので、予備が作りづらい実情があります。

### 25. 日常生活支援用品

- ①外出する際に、杖を室内用で1本、室外用で1本と、いつも2本持ち歩くと荷物が増えるので困っていたのですが、今回会場で杖先をカバーできる商品を見つけて、助かりました。
- ②口腔ケアの舌ブラシが、大きすぎると思います。もっと小さくしてほしいです。

### 26. 高齢者・障害者むけ食品

- ①甘さ、しょっぱさの幅がもっとあってもいいように感じます。ご利用者様によっては、たとえば、甘いものしか好まない方などいらっしゃると思います。

### 27. 介助・歩行補助ロボット

- ①リフトを降ろした状態ではなく、上げた状態でのシートベルト着用は危険だと思います。